

# ソリューションズ・ウジミナスへの 事業参画



株式会社メタルワン なかむら みのり  
 常務執行役員 営業管掌兼第二営業本部長 **中村 美則**

## 1. ブラジル鉄鋼需給の位置付け

南米最大の経済規模を誇り、近年、安定した経済成長を続けるブラジル。ブラジルにおける鉄鋼製品の需給を見ると、2009年は(粗鋼ベースで)26.5百万tを生産、9.2百万tを輸出して1.2百万tを輸入、差し引きの鉄鋼見掛け消費(国内需要)は18.5百万t。アルゼンチンの3.2百万t、ベネズエラの2.7百万tと比べても、経済規模同様、南米断トツである。

世界の中ではどんなポジションかを見ると、(リーマン・ショックの影響で2007年に比べ2008年、2009年は中国を除きどの国も数字は落ちているが)、ブラジルの粗鋼生産は3年連続世界9位、鉄鋼見掛け消費は2007年の10位から2008年、2009年には8位に上がり、世界のトップ10に入っている(表1)。

## 2. 今後拡大必至の鉄鋼需要と生産

ブラジルでの鉄鋼製品の用途は、第1が25%を占める自動車、第2が19%を占める建設である。ブラジルの自動車市場は2009年に前年比11%増の314万台と初めて300万台を突破。2010年1-4月の販売台数はドイツを抜き、中国、米国、日本に次ぐ世界4位の市場に躍進、鉄鋼需要は今後ますます増えよう。建設の方も、2014年のサッカーワールドカップ、2016年の夏季五輪を控え、鉄鋼需要は確実に増えていこう。1億9,400万人の人口を擁するブラジルの1人当たり鉄鋼消費量はまだ93.1kgで(日

本:418.9kg)、伸びる余地は大きい。

このような需要増に対応するべく、ブラジルには既にウジミナス、CSN、アルセロールミタル ブラジル、ゲルダウの4大鉄鋼グループがあるが、ウジミナスやアルセロールミタルの生産設備増強に加え、テイッセンクルップがスラブミルを建設中であり、そのほかにも新規に製鉄所を建設する話がにぎわっている。

## 3. 歴史の長い日本とブラジル鉄鋼業

鉄鋼をめぐる日本とブラジルの関係はとても古い。54年前の1956年に、ブラジル政府の強い要請に応え日伯政府間の国家プロジェクトとして、日本の鉄鋼メーカー、機械メーカー、電機メーカー等がウジミナスの建設をスタート。日本の粗鋼生産量がようやく1,000万tという時期での、大変思い切った国際協力プロジェクトで

表1 2009年世界ランキング

単位:100万トン

順位	粗鋼生産		鉄鋼見掛け消費	
1	中国	567.8	中国	542.4
2	日本	87.5	米国	57.4
3	インド	62.8	インド	55.3
4	ロシア	60.0	日本	53.2
5	米国	58.2	韓国	45.4
6	韓国	48.6	ドイツ	28.4
7	ドイツ	32.7	ロシア	24.7
8	ウクライナ	29.9	<b>ブラジル</b>	<b>18.5</b>
9	<b>ブラジル</b>	<b>26.5</b>	トルコ	18.0
10	トルコ	25.3	イラン	16.3

(出所) WSAのWorld Steel in Figures 2010

あり、1962年10月に溶鉱炉への火入れが成功裏に行われた。

#### 4. リオネグロとウジミナスの密な関係

さて、私どもメタルワンは、2003年1月に三菱商事と日商岩井（現双日）の鉄鋼製品事業部門を分離・統合して設立した鉄鋼総合商社だが、1960年代に三菱商事は自動車用鋼板をブラジルへ活発に輸出していた。しかし、ブラジル鉄鋼ミルの発展で輸入が減っていくのを見越し、国内での鋼板加工事業に入ろうと、カルロス・ジョージ・ロレイロ氏が1968年に創業したリオネグロに1972年80%出資。以後、五十鈴鋼材（現五十鈴）の技術指導の下、同社はブラジルの最大手かつ最高レベルの鋼板加工サービスセンターに成長。

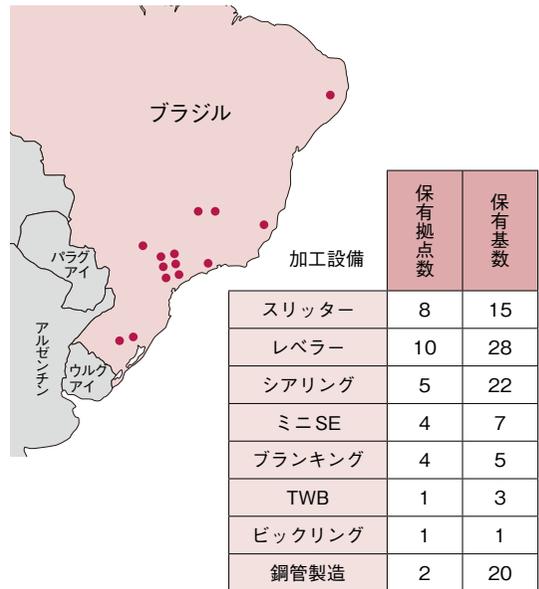
リオネグロは1991年にはウジミナスの民営化に参画して株主となる一方、1993年には今度はウジミナスがリオネグロに60%資本参加。

グアルーリョス工場に加え、2000年にはプレスブランキングライン1基とブランクを溶接するTWBライン2基を導入したタウバテ工場を新設。2007年には同工場の第二ブランキング、第三TWBラインをおおの増設。自動車用鋼板の流通市場では圧倒的な存在感を示している。



タウバテ工場

表2 拠点図と加工設備



#### 5. ソリューションズ・ウジミナス社の誕生

リオネグロとウジミナスの資本関係は先述の通りだが、2006年11月に新日本製鐵がウジミナスに直接出資を行った際に、三菱商事と共にメタルワンもウジミナスに若干ながら出資した。

このウジミナスがグループの流通・加工分野においてもシナジーの高い、全体最適の展開を目指そうということで、リオネグロを中核にグループ傘下のドゥフェール社、ファザール社、ザンプロニャ社、ウジアル社、ウジコルチ部門を2009年12月末に統合完了して発足した薄板の加工・販売、厚板販売、鋼管製造・販売の会社がソリューションズ・ウジミナス社だ。出資構成はウジミナス68.9%、メタルワン20%、ヨハネス・スレウマー氏11.1%。14の加工・製造拠点（表2）、従業員約2,800人、年間加工能力200万tの一大鉄鋼流通・加工会社が誕生、メタルワンは常勤の執行役員と営業の2名を出向させて企業価値向上に努め、ブラジルの鉄鋼産業の明日に貢献しようとしている。

